

宮城県岩沼市の仙台空港近くにあるキャタピラー東北岩沼研修センター。ここは、2年前まで建機の教習所があった場所で、津波で掘り返された教習センターの基礎が生々しく残る。

5月16、17日の2日間、この場所で「災害復興に役立つ情報化施工講習会」が開かれた。国土交通省東北、関東両地方整備局から22人、東北6県で工事を行う建設会社などから約50社100人が2日間の講習を受けた。

## 東北復興と情報化施工

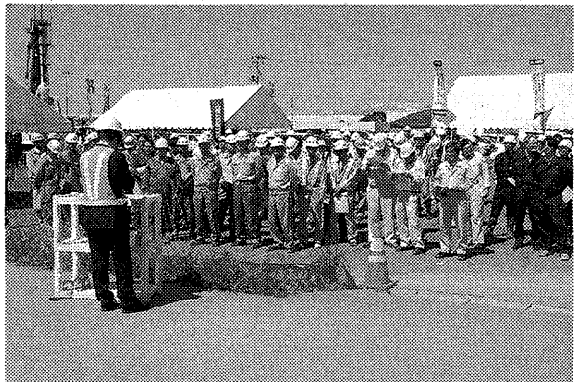
岩沼でJCM A講習会

上

## 受発注者向け 被災地で実演

講習会に携わったスタッフは、手弁当で集まったのが「復興ワーキンググループ(WG)」だ。

講習会に携わったスタッフは、手弁当で集まったのが「復興ワーキンググループ(WG)」だ。



約100人の参加者が集まった

## 対応重機が集結

この2日間、メンバーならではの良さを発揮しよう」と、全員に声を掛けた。

### トップランナーそろつ

岩沼の会場に持ち込まれた情報化施工対応重機は、20トンスのバックホウ3台、10トンスのブルドーザー2台、3トンスクラスのミニバックホウ3台などだ。GPS(全球測位システム)固定局、それに出来形管理用のトータルステーション(TS)も持ち込まれた。

重機は、キャタピラー、コマツ、日立建機、それにアクティオ、カナモト、西尾レントオー

ルなどがそれぞれ会場に搬入した。トップコン、ニコン・トリンブル、ライカジオシステムズなど。

では3次元、2次元の対応機器を重機に取り付けた。

また、情報化機器に不可欠なデータ処理や衛星補正情報などを取り扱う、建設システム、ジエノバ、福井コンピュータなどのソフト会社も参加した。そのほか鹿島道路なども参加、各会社は、情報化施工のトップランナーだ。

日ごろはライバルとして営業している各社が、この講習会では1つの目標に向かって協力する体制も大きな特徴だ。

復興工事が本格化している東北の地で、品質とスピード、利益確保が両立できる情報化施工技術を知ってもらいたい、というWGメンバーの意志が具体化した。

### 【建設ICT】

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. 日経    | 2. 朝日    | 3. 毎日    |
| 4. 読売    | 5. 朝日    | 6. 中日    |
| 7. 産経    | 8. 静岡    | 9. 伊勢    |
| 10. 中部経済 | 11. 建通   | 12. 日刊工業 |
| 13. 建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海  |
| 16. 建設工業 |          |          |

平成25年 5月23日(朝)・夕 P2-2

建設通信新聞